

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	コンプラビン配合錠
(英名)	ComPlavin
(規格・含有量)	1錠中、クロピドグレル75mg(クロピドグレル硫酸塩として97.88mg)、日局アスピリン100mgを含有
(一般名)	クロピドグレル硫酸塩/アスピリン配合錠
(メーカー名)	サノフィ
【薬価収載日】	2013年11月
【薬価】	1錠:275円
【薬効コード】	873399
【薬効分類名】	抗血小板剤
効能・効果	経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞)、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞
用法・用量	通常、成人には、1日1回1錠(クロピドグレルとして75mg及びアスピリンとして100mg)を経口投与する。
禁忌	①出血している患者(血友病、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血等)[出血を助長するおそれがある。] ②出血傾向のある患者[血小板機能異常が起こることがあるため、出血傾向を助長するおそれがある。] ③本剤の成分又はサリチル酸系製剤に対し過敏症の既往歴のある患者 ④消化性潰瘍のある患者[プロスタグランジン生合成抑制作用により、胃の血流量が減少し、消化性潰瘍を悪化させることがある。] ⑤アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[重篤なアスピリン喘息発作を誘発させることがある。] ⑥出産予定日12週以内の妊婦
相互作用	他剤作用増強 ザフィレルカスト、プロスタグランジンD ₂ 、トロンボキサンA ₂ 受容体拮抗剤(ラマトロパン、セラトログダスト) 本剤副作用増強 非ステロイド性消炎鎮痛薬(ナプロキセン、インドメタシン、ジクロフェナクナトリウム等)、副腎皮質ホルモン剤(ベタメタゾン、プレドニゾロン、メチルプレドニゾロン等)、ドネペジル塩酸塩 他剤副作用増強 糖尿病用剤(ヒトインスリン、トルブタミド等)、メトトレキサート、バルプロ酸ナトリウム、リチウム製剤、炭酸脱水酵素阻害剤(アセタゾラミド等) 本剤他剤副作用増強 血小板凝集抑制作用を有する薬剤(シロスタゾール、トロンボキサン合成酵素阻害剤(オザゲレルナトリウム)、プロスタグランジンE ₁ 製剤、E ₁ 及びI ₂ 誘導体(ベラプロストナトリウム等)、サルポグレラート塩酸塩、イコサペント酸エチル等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA製剤(アルテプラザーゼ等)等)、血液凝固阻止剤(ヘパリン製剤、ダナパロイドナトリウム、第Xa因子阻害剤(リバーロキサバン等)、抗トロンピン剤(ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩等)、トロンボモデュリン アルファ等)、クマリン系抗凝固剤(ワルファリンカリウム)、タクロリムス水和物、シクロスポリン、選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)(フルボキサミンマレイン酸塩、塩酸セルトラリン等)、アルコール 本剤作用減弱 薬物代謝酵素(CYP2C19)を阻害する薬剤(オメプラゾール)、イブプロフェン、ナプロキセン 他剤作用減弱 フェニトイン、チアジド系利尿剤(ヒドロクロロチアジド等)、ループ利尿剤(フロセミド)、β遮断剤(プロプラノロール塩酸塩、ピンドロール等)、ACE阻害剤(エナラプリルマレイン酸塩等)、ニトログリセリン製剤、尿酸排泄促進剤(プロベネシド、ベンズブロマロン)
副作用	重大な副作用 出血(頭蓋内出血、胃腸出血等の出血)、胃・十二指腸潰瘍、小腸・大腸潰瘍、肝機能障害、黄疸、血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、間質性肺炎(頻度不明)、好酸球性肺炎、血小板減少、白血球減少、無顆粒球症、再生不良性貧血を含む汎血球減少症、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形滲出性紅斑、剥脱性皮膚炎、薬剤性過敏症候群、後天性血友病、横紋筋融解症、ショック、アナフィラキシー、喘息発作 その他 皮下出血、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)、γ-GTP上昇、好中球減少 等

(薬品名)	スーグラ錠 50 mg	市販直後調査 平成 26 年 4 月～平成 26 年 10 月
(英名)	Suglat Tablets 50mg	
(規格・含有量)	1錠中、イプラグリフロジン L-プロリン64.3mg(イプラグリフロジンとして50mg)を含有	
(一般名)	イプラグリフロジン L-プロリン錠	
(メーカー名)	アステラス	
【薬価収載日】	2014年4月	
【薬価】	1錠:205.5円	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	選択的SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-	
効能・効果	2型糖尿病	
用法・用量	通常、成人にはイプラグリフロジンとして50mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重症ケトosis、糖尿病性昏睡又は前昏睡[輸液、インスリン製剤による速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。] ③重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者[インスリン製剤による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。]	
相互作用	他剤作用増強 利尿作用を有する薬剤(ループ利尿薬、サイアザイド系利尿薬等) 本剤副作用増強 血糖降下作用を増強する薬剤(β -遮断薬、サリチル酸剤、モノアミン酸化酵素阻害剤、フィブレート系薬剤等) 本剤他剤副作用増強 糖尿病用薬(インスリン製剤、スルホニルウレア剤、チアゾリジン系薬剤、ビグアナイド系薬剤、 α -グルコシダーゼ阻害剤、速効型インスリン分泌促進剤、GLP-1受容体作動薬、DPP-4阻害剤等) 本剤作用減弱 血糖降下作用を減弱する薬剤(副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン等)	
副作用	重大な副作用 低血糖、腎盂腎炎 その他 頻尿、口渇、便秘、尿中 β_2 ミクログロブリン増加、体重減少 等	

削除医薬品通知

●6月2日より

テルギンGドライシロップ 0.1%	6/2 削除
ハイパジールコーワ錠 3	6/2 削除
トランコロンP配合錠	6/2 削除

剤形追加通知

今回採用医薬品

●6月2日より

ザイザルシロップ 0.05%

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
ニコランジル点滴静注用 48 mg「F」	シグマート注 48 mg
ミオコール静注 5 mg/10mL	ミリスロール注 5 mg/10mL
ミオコール点滴静注 25 mg/50mL（袋）	ミリスロール注 25 mg/50mL
グリセレブ点滴静注 200mL	グリセオール注 200mL

適応追加通知

グラクティブ錠 25mg	【効能又は効果】 2 型糖尿病
ジャヌビア錠 50mg	【効能又は効果】 2 型糖尿病
ネシーナ錠 25mg	【効能又は効果】 2 型糖尿病
ランマーク皮下注 120mg	【効能又は効果】 2. 骨巨細胞腫 【用法・用量】 通常、デノスマブ(遺伝子組換え)として 120mg を第 1 日、第 8 日、第 15 日、第 29 日、その後は 4 週間に 1 回、皮下投与する。